

シニアクラブ南伊豆

○総人口	7,804 人	○65 歳以上人口	3,742 人	○高齢化率	47.9%
○シニアクラブ会員数	556 人	○シニアクラブ加入率	14.9%		

～シニアクラブ南伊豆～

《概況》

地域クラブ基盤強化事業

本部役員、若手委員との協議を 8 月 23 日に実施。休会地区や未設置地区の状況や今後の対策について話し合いを行った。また、広報紙の発行について取り上げる記事の内容、役割分担について協議を行った。

10 月～2 月に休会地区、未設置地区の自治会長や民生員への訪問を推進相談員、若手委員で行った。それらの地区でのクラブ再開、新設について話し合い、課題や今後の展開について協議を行った。

3 月に広報紙「みなみろうれんだより」を全戸配布で発行。

《成果》

南伊豆町老人クラブ連合会では、若手委員会の活動を本部役員会や単位クラブ会長会議などの際にも報告の機会を設け、若手委員と本部役員、各単位クラブと協同で事業を実施することにより、良い情報交換の場ともなりました。単位クラブの活動や、町老連で実施している事業の課題、今後の方針についても様々な意見が寄せられ、これからの老人クラブ活動を進めていく上で良い材料になると思います。

町老連広報紙「みなみろうれんだより」発刊により、町民の皆様にクラブ活動を知って頂くことで、クラブ活動への興味や理解を深め、今後の会員加入促進にも繋がると考えられます。町内各世帯に全戸配布を行い、クラブ活動を知って頂く良い機会になったと思います。

《今後の方針》

若手委員会、活動推進相談員を中心に、令和 5 年度も継続して各単位クラブへの訪問活動を実施し、広報紙「みなみろうれんだより」を発行し、会員加入促進に繋がりたいと考えています。また、若い世代にも受け入れられやすい事業の創出や、活動推進相談員と連動して休会地区や未実施地区への対応を行いたいと考えています。

【活動の様子】

シニアクラブの活動の様子を全戸に配布することで、地域高齢者へ集える場のあることを発信

みなみろうれんだより

第11号 春

～みなみろうれんだより 発刊にあたって～

“シニアクラブ南伊豆を宝の山に あなたの力をください”

南伊豆町は老人クラブ発祥の地です。昭和24年に加納老人会が誕生し、以降、各地区に次々と老人会が結成されました。そして昭和35年に連合会「聚楽会」（現在の南伊豆町老人クラブ連合会）が発足し現在に至っています。輝かしい歴史を誇るシニアクラブ南伊豆ですが、クラブ数、会員数は激減しています。その理由として「クラブ名の老人という呼称に対する抵抗」「組織が古い」などが挙げられています。一方で「高齢者のいきがいづくりに役立っている」「魅力ある地域活動団体であれば参加する」という意見も多数あります。

「町の小さな図書館」と言われる高齢者に多く集まっていただき、シニアクラブ南伊豆を宝の山の集団にしていけたらと考えています。是非ともご加入を検討して下さいますようお願いいたします。

南伊豆町老人クラブ連合会 会長 渡辺 力

～『健寿会 蛇石・平戸』の活動紹介～

さかのぼること約半世紀。蛇石・平戸 地区は当時盛んであったゲートボールの合同チームを作り練習、試合にと積極的に活動していました。非常に仲が良かった当時のチームが現在の老人会の母体になっていると思っています。

当地は“蛇の石伝説”が伝えられている大きな蛇の形をした石が青野川に鎮座しています。時には、車を止めて眺めている観光客の姿も見かけます。

さて、蛇石老人会は今年度から「健康で長生きをしよう」をモットーに【健寿会 蛇石・平戸】に呼び名を変え『活動は全員参加』を合言葉に和気あいあいと活動しています。コロナ禍の中ですが、感染対策を十分にしながら少しのお菓子と飲み物で みんなでおしゃべりを楽しみ、刺激を受け、体力づくり、認知症防止にと会員の興味関心のある内容を取り入れ定例会を開いています。

グラウンドゴルフは週2回練習を積み、大会では入賞する会員も度々あります。本年度は町の競技会で、グラウンドゴルフ大会3位、スポーツ大会準優勝、輪投げ大会優勝という嬉しい結果となりました。会員14名、人生100年時代に向けてフレイル予防をしながら元気で過ごしたいと会員みんなの今年の目標です。



町長と未来を語ろう

12月13日、南伊豆町役場にて「町長と未来を語ろう」と題して町長と老連役員と懇談会を開催しました。

老人クラブへの加入者が年々減少している現状を伝え、加入促進への協力をお願いしました。町長から広報誌や各種会議の場での老人クラブの紹介などを検討するとの力強い言葉を頂きました。他にも高齢者の見守り活動や温泉の活用など活発な意見が出され、とても有意義な懇談会となりました。



スポーツ大会

10月21日、第47回スポーツ大会を開催しました。町内各地区から17チーム、約250人が参加し熱戦を繰り広げました。老人福祉大会の開催を見合わせているため、表彰式典も開会式の際に行い、役員6名、85歳会員24名が表彰されました。

昨年に引き続き、新型コロナ感染拡大防止のため密になる種目は省いて、全9種目で勝敗を競い、優勝は西子浦、準優勝は蛇石、第3位が市之瀬という結果となりました。

小学生との交流

6月21日、南伊豆東小体育館で、町内の小学生23人、老人クラブ連合会、町花の会と道の駅に飾るハンギングバスケットづくりを行いました。

小学生と協力しながら和気あいあいと、道の駅を美しく飾り、訪れる人を喜ばせられるよう、バスケットづくりに取り組みました。

今後は花の手入れなども行っていきたいと考えております。



老人八訓

- ①くよくよするな腹立つな（悟り）
- ②常に勉強夢を持って（希望）
- ③歩け働け大気も凜（運動）
- ④好き嫌いなく腹八分（食事）
- ⑤適度に休養無理するな（休養）
- ⑥姿も若く気も若く（心構え）
- ⑦打ち込む娯楽と趣味を持って（趣味）
- ⑧話せる老人役に立て（奉仕）

